

質 疑 一 般 質 問

質問 高齢世帯を中心に家具の固定による

質問 耐震補強をしなくてもお金が無いと諦める人が多いと聞く。本市の今後の耐震化率向上の取組みを伺う。

答弁 高齢者世帯に対して、木造住宅補強計画・補強工事について助成限度額を一般世帯100万円のところ、高齢者世帯は120万円となり20万円を上乗せし、耐震化を促進する取り組みを実施している。また県・市職員による対象となる全世帯への個別訪問等もを行っている。

の際の対応マニュアルは整備されているか

答弁 市の危機管理部門において、家具転倒防止器具の取付に対する全額補助を行っているところである。

質問 大阪池田小児童殺傷事件の被害者ご遺族を招いた講演会が開催され、今も学校が狙われる事件が相次いでいるとのことであった。この事件後、池田小では17項目における改善点が検討された。市において有事の際の対応マニュアルは整備されているか

答弁 子供たちの安全に関するマニュアルとして校内緊急時での指導体制の在り方や不審者が校内に侵入した場合の対応マニュアル等を全ての学校において作成し、児童生徒の安全を第一に行動できるように教職員をはじめ児童生徒にも周知徹底をしている。本市では教職員の護身術研修など一部実施できていない項目があるが17項目の殆どに対応している。

能登半島地震を教訓とした高齢世帯の耐震化について 子供たちの安全対策について



はしもと かずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ

◆所属委員会◆

観光建設公営企業委員会
(副委員長)

広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■(仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センター■建設残土の問題

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



小学校校舎等改修経費について



こしむら おさむ
越村 修 議員

熱海成風会

◆所属委員会◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■熱海市災害廃棄物処理計画■伊豆山土石流災害からの復旧・復興

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 小学校校舎等改修経費について、令和6年度の予算においても約2億1,400万円と多額の予算が配分、なかでも多賀小学校の外壁改修工事に約1億9千万円が計上されている。多賀小はこれまで何度も改修・補修工事を行ったが、状態が改善しないという声がある。考えられる要因はなにか。

答弁 ご指摘の点については、建物の構造上の課題等があるものと考えており、長期間にわたる大規模改修工事を実施するか、施設を改築するかを選択することになるが、学校施設を長期にわたって閉鎖し、工事することは困難であるため、抜本的解決に至っていない。

質問 多賀小、また多賀中学校についても老朽化が進行しており、施設の構造的に課題の抜本的な解決策が望まれる。また少子化が進み、施設規模のコンパクト化が必須になっているのではないかと思う。小中一貫教育実施校への変更について検討をどう考えるか。

答弁 南熱海地区で学校施設が目指す方向性について、地域住民も参画する話し合いの場を作り、近い将来の教育に係る施設についてのコンセンサスを得ていくことは、始めていくべきことと捉えている。また、小中一貫教育については、その利点不利点をしっかりと考え、まずは教育委員会での検討を始められるようにしていく。